



## 応援練習が始まりました



〈応援練習の様子〉

5月19日の運動会に向けて、応援合戦の練習が始まりました。6年生の応援リーダーを中心に赤・白に分かれて、練習をしています。左の写真はその時の様子を写したものです。

応援歌や振り付けは、休み時間などを使って6年生が考えています。

昨日、1回目の練習を行ったのですが、6年生が事前に応援計画をしっかりと立てて練習に臨んでいたこともあり、どの組もしっかりと声が出ていました。これから回を重ねるごとに、さらに意欲的になっていくと思います。運動会が楽しみです。

運動会の競技の練習も始まりました。これから気温が高くなりますので、水筒の準備をお願いします。

## 校長室の窓から

～『徒然草』の話から～

古典で有名な『徒然草』に、目的を見失った哀れな男の話が載っています。

ある男が、親から「仏教の勉強をして立派な僧侶になりなさい」と言われました。

そこで、彼はまず、馬の乗り方を習いました。法事の際、施主が馬で迎えに来た時、落馬したらつらいだろうと思ったからです。

次に、法事後の酒席で何も芸ができなかったら施主が興ざめに思うだろうと、歌を習いました。

乗馬と歌謡の力がある程度ついた後も、もっと上達したいと打ち込んでいるうちに、仏教を勉強する時間がないまま、年をとってしまいました。

この男だけが愚かなのではありません。世間の人々にも、同じようなことがあるものです。一生をのんびりと構え、つい怠けて、目前のことばかりに心を奪われ、月日を送っています。肉体は、走って坂を下る輪のように、どんどん衰えていきます。だから一生のうちで、どれが一番大事なことが、よく考えなければなりません。その他は断念して、一番大事なことに励むべきです。（第188段・要約）

実に耳の痛い話です。新年度が始まる時、私も今年度の目標を立てたのですが、日々の仕事に追われ、目先の簡単にできることから始めてしまい、本当にしなければならないことややりたかったことが、まだ、手つかずのままです。みなさんは、いかがでしょうか。

令和6年度は、まだ始まったばかりですが、目標をしっかりと見定め、実現できるようにしたいものです。